

出生率変化と出生数変動： 「日本の将来推計（令和5年推計）」条件付推計の応用

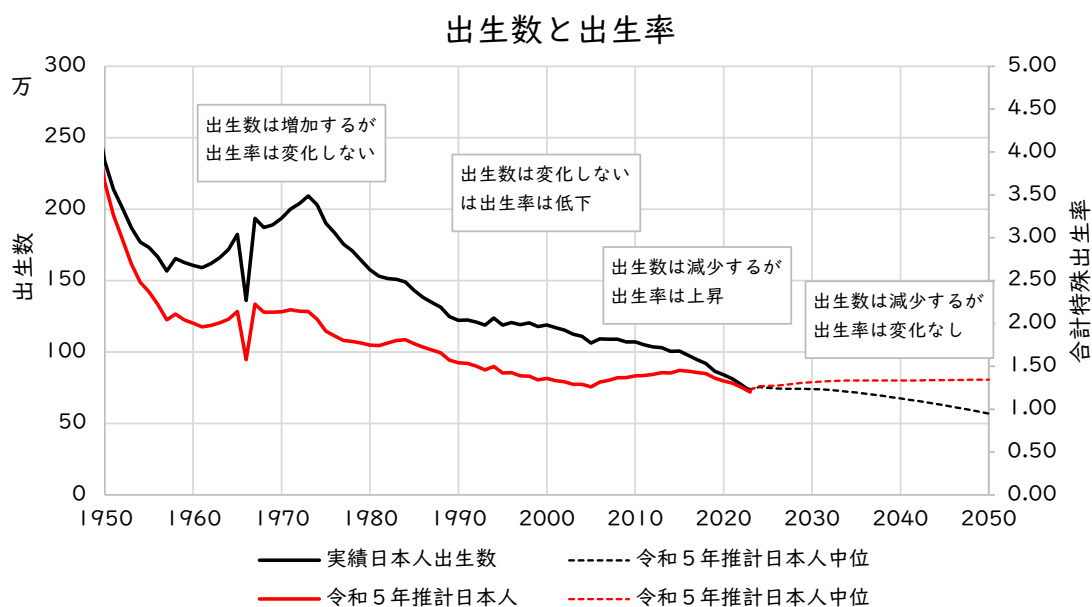
岩澤美帆、別府志海

1. はじめに

将来の出生率が変化すると、将来の出生数も変化する。しかし、出生率の変化は、中長期的には将来の母親になる女性人口にも影響し、それを通じて出生数が影響を受けるため、出生率と出生数との関係は単純ではない。実際に過去の出生数と出生率の関係は、その時々によって変化してきた（図1）。

将来について、出生率の出生数への影響を定量的に示すためには、将来人口推計を活用することが有効である。本研究では「日本の将来人口推計（令和5年推計）」、とくに条件付推計によって、出生率の将来出生数に対する影響を明らかにする。さらに、推計の結果を利用し、特定年次の特定水準の出生数が実現する際に想定される出生率を推定する方法を示す。

図1 出生数と合計特殊出生率の推移



将来人口推計は、出生や死亡、人口移動といった動態事象について将来動向を仮定し、基準となる性別年齢別人口を出発点として、その仮定に従って実現する翌年の人口を逐次的に計算するシミュレーションである。

将来予測として活用することを目的とし、蓋然性が高い中立的な仮定を置いた推計は、各国の公的推計や国際研究機関による推計の中位推計（多くの場合、蓋然性がある範囲で高位、低位の幅をもった形で）として、多くの社会経済計画に利用されている。

一方、蓋然性とは無関係に、様々な動態水準が将来人口および動態数にどのくらいのインパクトを与えるかを知る目的で、条件付推計（感応度分析）も行われる。2023年に公表された「日本における将来推計人口（令和5年推計）」においても、出生および死亡に関する中位、高位、低位推計という基本推計のほか、2020年の最新実績の水準で動態率を固定する一定推計、国際人口移動がない封鎖人口推計、そして、出生率や国際人口移動の仮定値を機械的に様々な水準で設定した条件付推計が実施されている。

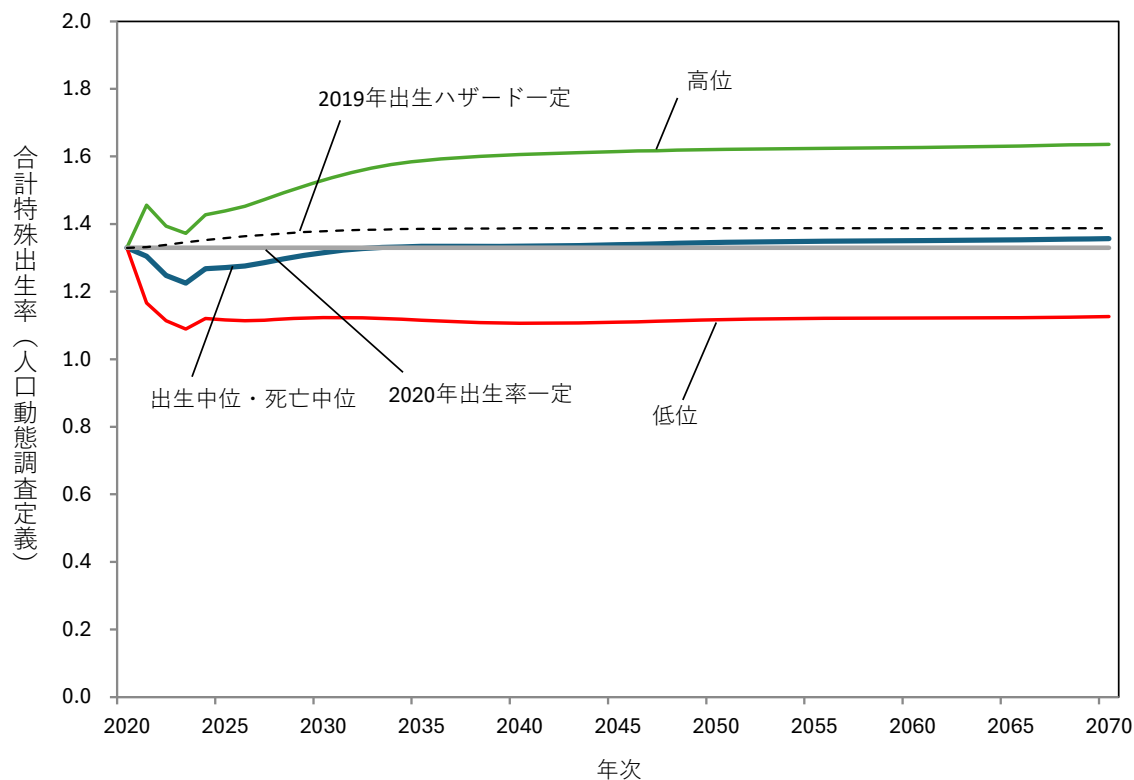
こうした様々な条件の仮定を用いた将来推計は、人口動態の仮定と人口動態数との関係を捉えるために有効である。とくに出生率の変化が、中長期的には女性人口の変化を通じても出生数に影響を与えるメカニズムを捉えることができる。

本研究は、この将来人口推計のしくみを使って、以下3つの点を明らかにする。(1)はじめに、将来出生数に対する人口構造の影響を明らかにする。具体的には、年齢別出生率を推計時点での実績値の値に固定した推計と、中位仮定にもとづく結果との比較を行う。(2)次に、出生率仮定の水準の違いが将来の出生数にどの程度のインパクトを与えるかを、令和5年推計の結果をもとに提示する（感応度分析）。(3)最後に、この結果を活用し、逆の視点に立ち、将来の特定年次の特定水準の出生数の対応する出生率仮定の水準を求める算定方法を示す。

2. 年齢別出生率を基準時点の実績で固定した出生数推計

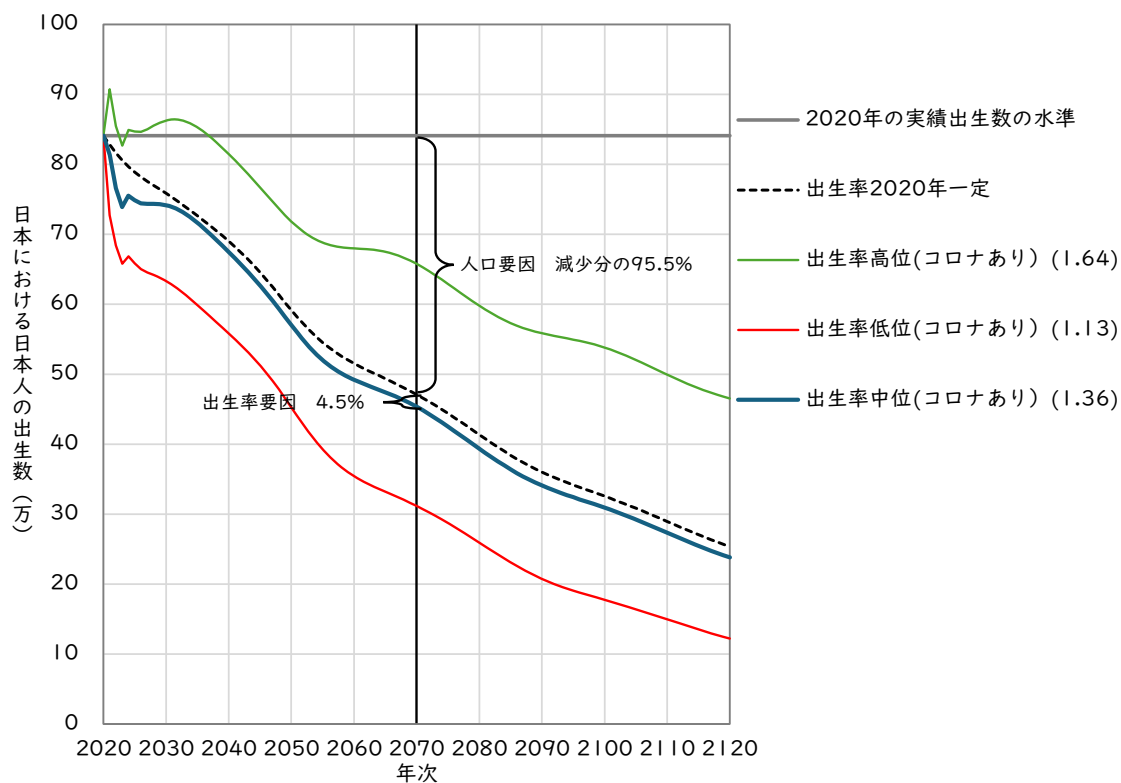
将来の出生数は年齢別出生率の仮定および再生産年齢の年齢別女性人口の規模と構造に依存する。そこで、2020年の出生数水準から中位仮定に従って減少する出生数のうち、どの程度が女性の年齢別人口の変化に起因するのかわ知るために、年齢別出生率を2020年で固定した推計の結果を示す。また、その出生数を、中位推計、高位推計、低位推計と比較する。2020年出生率一定仮定、および中位、高位、低位の仮定の合計特殊出生率の推移を図2に示した。なお、中位仮定においては、初婚ハザードは2019年以降一定なので、初婚行動の変化は見込まれていない。

図2 2020年出生率一定、中位、高位、低位仮定における合計特殊出生率



2020年の日本における日本人の出生数は840,836であった。2070年の中位仮定は453,380に対し、2020年の年齢別出生率を固定した推計結果は470,911であった（図3）。減少分の95.5%が女性の年齢別人口の変化による減少であり、2021年以降の出生率仮定の変化の影響（コロナ禍による結婚・出生減の影響を含む）は減少分の4.5%であり、減少のほとんどが年齢別人口の変化によって説明できる。ただし、高位推計の結果では、2036年でも84万を維持しており、2070年に1.36の水準を示す高位推計の場合は、2030年代まで人口構造による減少を補完することがわかる。ただし、高位推計であっても、その後、出生数が長期的に減少すると推計される。

図3 2020年出生率一定仮定による出生数推計および中位・高位・低位仮定による出生数推計



3. 出生率水準の違いによる出生数

令和5年推計では、基本推計においては、出生率は中位仮定、高位仮定、低位仮定の3つの仮定で推計され、条件付推計においては、機械的に設定された7つの水準で推計がなされている。各水準の年齢別出生率は、基本推計の中位・高位・低位の3仮定を用い、各年における3仮定の年齢別出生率を線形補間(補外)することによって年齢別出生率を作成することとした。出生率のレベルについては、2070年における人口動態調査定義の合計特殊出生率が2.20、2.00、1.80、1.60、1.40、1.20、1.00となるような線形補間(補外)比を求め、これを固定して他の年次にも適用することとした。図4は、これらの仮定に基づく合計特殊出生率の推移を示したものであり、図5は中位水準からの各仮定との相対比を示している。

図4 出生率の各水準

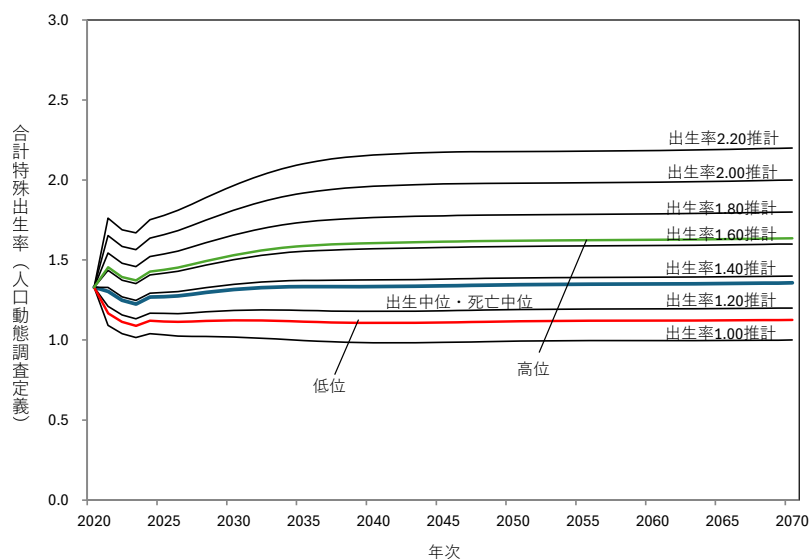
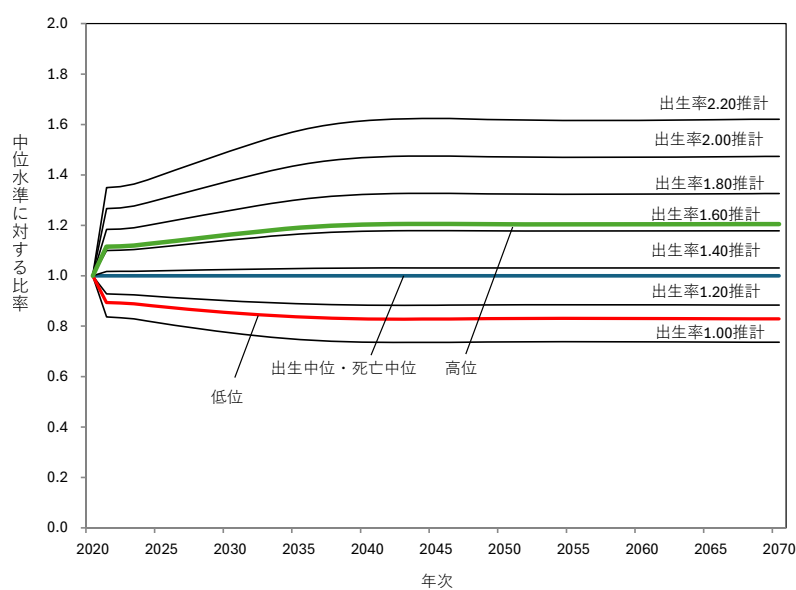


図5 中位仮定を基準とした各水準との対比



これらのように出生率仮定が変化した場合に、出生数がどのように変わるのかを示したのが図6である。なお、死亡仮定、国際人口移動に関する仮定は中位推計のものをを用いている。

図6 出生率仮定値の水準別にみた将来出生数の推移

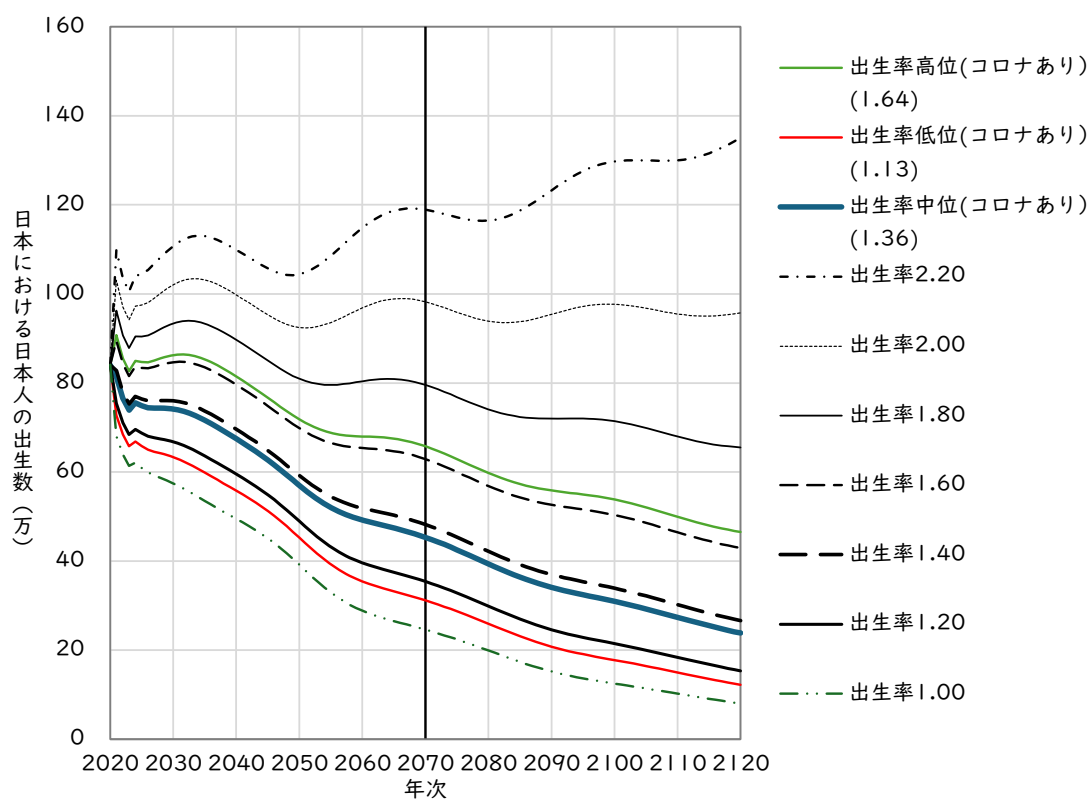
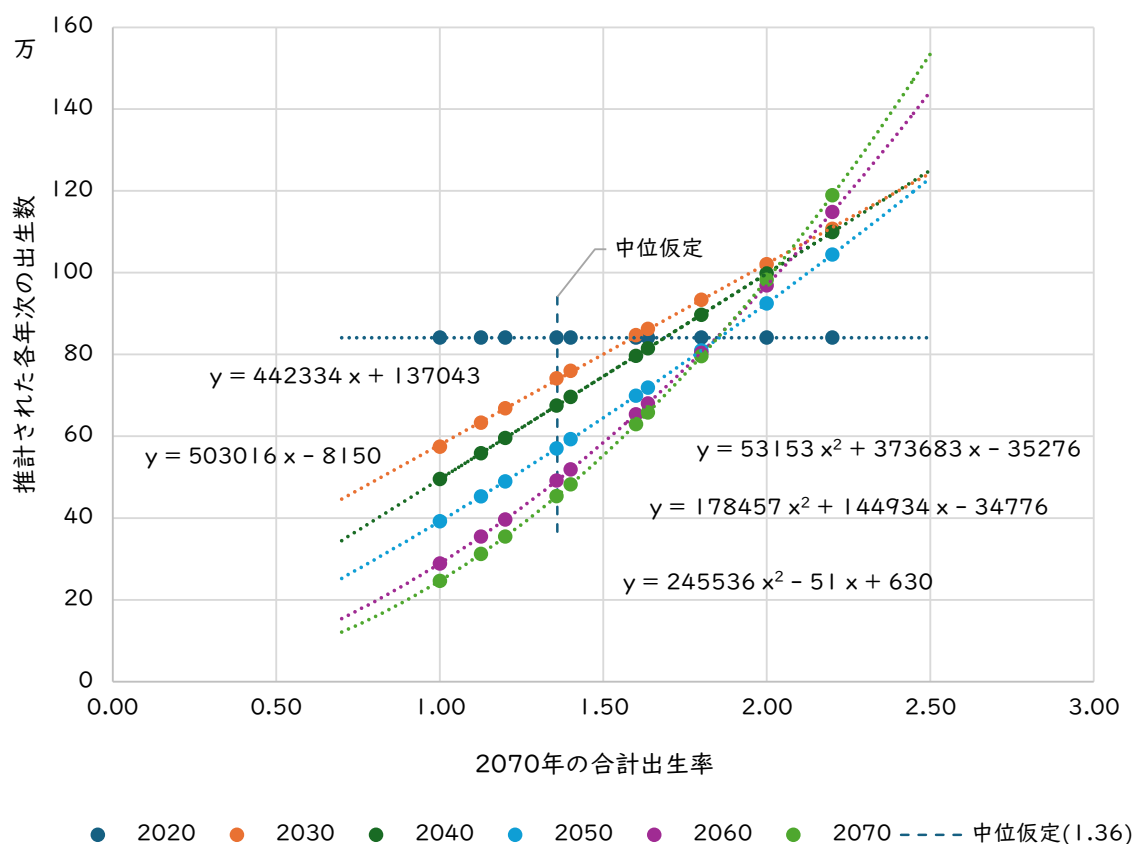


表1 2070年の合計特殊出生率の水準別にみた推計された特定年次の将来出生数

	出生率高 位(コロナ あり) (1.64)	出生率低 位(コロナ あり) (1.13)	出生率中 位(コロナ あり) (1.36)	出生率 2.20	出生率 2.00	出生率 1.80	出生率 1.60	出生率 1.40	出生率 1.20	出生率 1.00
2070年の 合計 出生率	1.64	1.13	1.36	2.20	2.00	1.80	1.60	1.40	1.20	1.00
推計された各年次の出生数										
2020	840,835	840,835	840,835	840,835	840,835	840,835	840,835	840,835	840,835	840,835
2030	862,284	633,210	741,449	1,107,353	1,020,320	933,389	846,578	759,913	667,825	574,432
2040	814,595	558,228	674,816	1,098,930	997,823	896,977	796,412	696,156	595,486	495,020
2050	718,369	452,639	570,193	1,044,203	924,605	809,416	698,643	592,300	489,504	391,632
2060	679,804	354,218	491,776	1,148,304	968,556	803,715	653,759	518,668	395,890	288,465
2070	657,747	311,734	453,380	1,189,209	982,423	795,748	629,041	482,158	354,144	245,918

図7 2070年の合計特殊出生率の水準別にみた推計された特定年次の将来出生数



将来人口推計のしくみを使うと、出生率仮定値の違いによる各年次の出生数の違いを知ることができる。では、特定の年次の特定の出生数を実現するための出生率の水準はどのように求めることができるか。ここでは、上記の出生率と出生数の関係から、それを求める。

出生率仮定による将来出生数の違いを、2070年の合計特殊出生率の水準と特定年次の出生数との関係で示したものが表1と図7である。

図7には、仮定に用いた出生率の2070年の合計特殊出生率の水準（横軸）と推計された各年時の出生数の関係を示したものであり、年次別に関係を近似式を推定した。2030年、2040年は一次関数（線形）モデルで近似できる。一方2050年、2060年、2070年は二次関数モデルで近似できる。これは推計時点から長時間経過するほど、出生率が生産年齢人口の変化を通じて出生数に影響するからだと考えられる。

4. 特定年次の特定水準の出生数に対応する出生率仮定

前節で、将来出生数を出生率仮定値の関数とする、一次関数モデル、二次関数モデルが推定された。この関係から、特定年次の出生数が実現するときに想定される出生率水準を計算する方法を示す。

一次関数の近似式は以下である。

$$B_t = c_t + b_t \cdot TFR_{2070} .$$

ここで、 B_t は t 年の出生数、 c_t は切片、 b_t は一次の係数、 TFR_{2070} は、仮定された2070年の合計特殊出生率である。これを TFR_{2070} について解くのは単純であり、以下のように式を変換する。

$$TFR_{2070} = \frac{(B_t - c_t)}{b_t} .$$

一方、2050年以降については二次関数モデルのあてはまりがよかった。

$$B_t = c_t + a_t \cdot TFR_{2070}^2 + b_t \cdot TFR_{2070} .$$

ここで、 B_t 、 c_t 、 b_t に加え、 a_t は二次の係数であり、 TFR_{2070} は、2070年の合計特殊出生率の仮定水準である。

これを TFR_{2070} について解くために、ここでは二次方程式の解の公式を利用して解析的に解く。上記式を以下のように変換する。

$$a_t \cdot TFR_{2070}^2 + b_t \cdot TFR_{2070} + (c_t - B_t) = 0 .$$

この TFR_{2070} について、二次方程式の正の実数解は、下記により求めることができる。

$$TFR_{2070} = \frac{-b_t + \sqrt{b_t^2 - 4a_t(c_t - B_t)}}{2a_t} .$$

この式を用い、特定年次（2030年、2040年、2050年、2060年、2070年）について、年間出生数の水準別に2070年 TFR を示すと表1のようになる。

なお、上記 TFR の入った0になる式について、反復計算により数値的に解いてもほぼ同様の合計出生率が得られる。

表2 特定の出生数別にみた想定される2070年合計出生率仮定値

特定の出生数(B)	想定される2070年の合計出生率(TFR2070)				
	2030年	2040年	2050年	2060年	2070年
50,000		0.12	0.22	0.39	0.45
100,000		0.22	0.35	0.55	0.64
150,000	0.03	0.31	0.47	0.69	0.78
200,000	0.14	0.41	0.58	0.81	0.90
250,000	0.26	0.51	0.69	0.92	1.01
300,000	0.37	0.61	0.81	1.02	1.10
350,000	0.48	0.71	0.91	1.12	1.19
400,000	0.59	0.81	1.02	1.21	1.28
450,000	0.71	0.91	1.12	1.29	1.35
500,000	0.82	1.01	1.22	1.37	1.43
550,000	0.93	1.11	1.32	1.45	1.50
600,000	1.05	1.21	1.42	1.52	1.56
650,000	1.16	1.31	1.51	1.59	1.63
700,000	1.27	1.41	1.60	1.66	1.69
750,000	1.39	1.51	1.69	1.73	1.75
800,000	1.50	1.61	1.78	1.79	1.80
850,000	1.61	1.71	1.87	1.86	1.86
900,000	1.72	1.81	1.96	1.92	1.91
950,000	1.84	1.90	2.04	1.98	1.97
1,000,000	1.95	2.00	2.13	2.04	2.02
1,050,000	2.06	2.10	2.21	2.09	2.07
1,100,000	2.18	2.20	2.29	2.15	2.12
1,150,000	2.29	2.30	2.37	2.20	2.16
1,200,000	2.40	2.40	2.45	2.26	2.21

図8 特定年次の特定出生数別に対応する2070年合計出生率仮定値

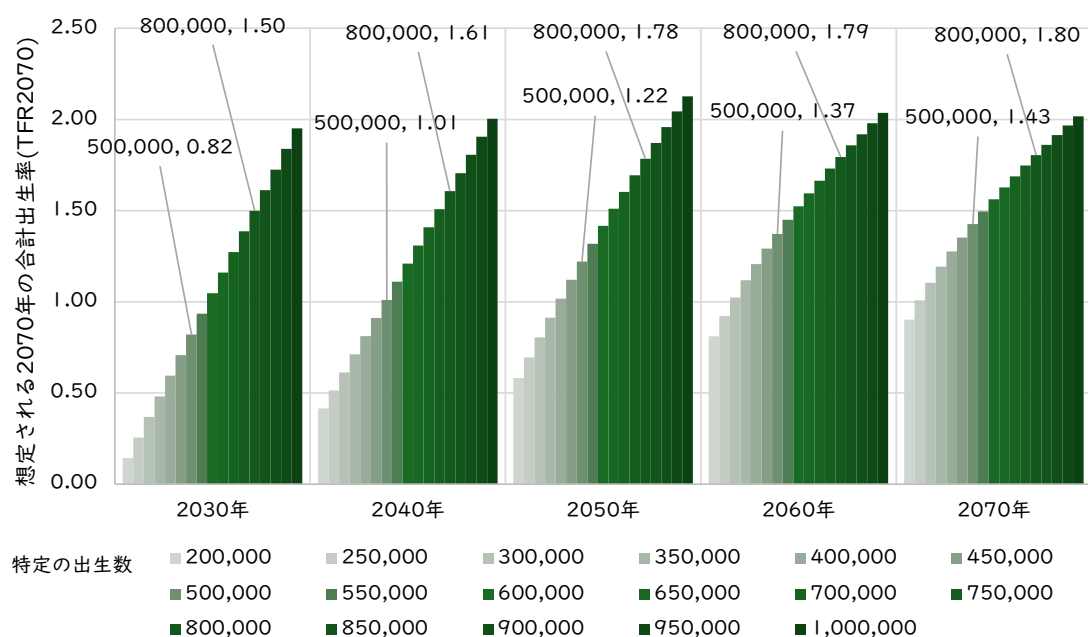
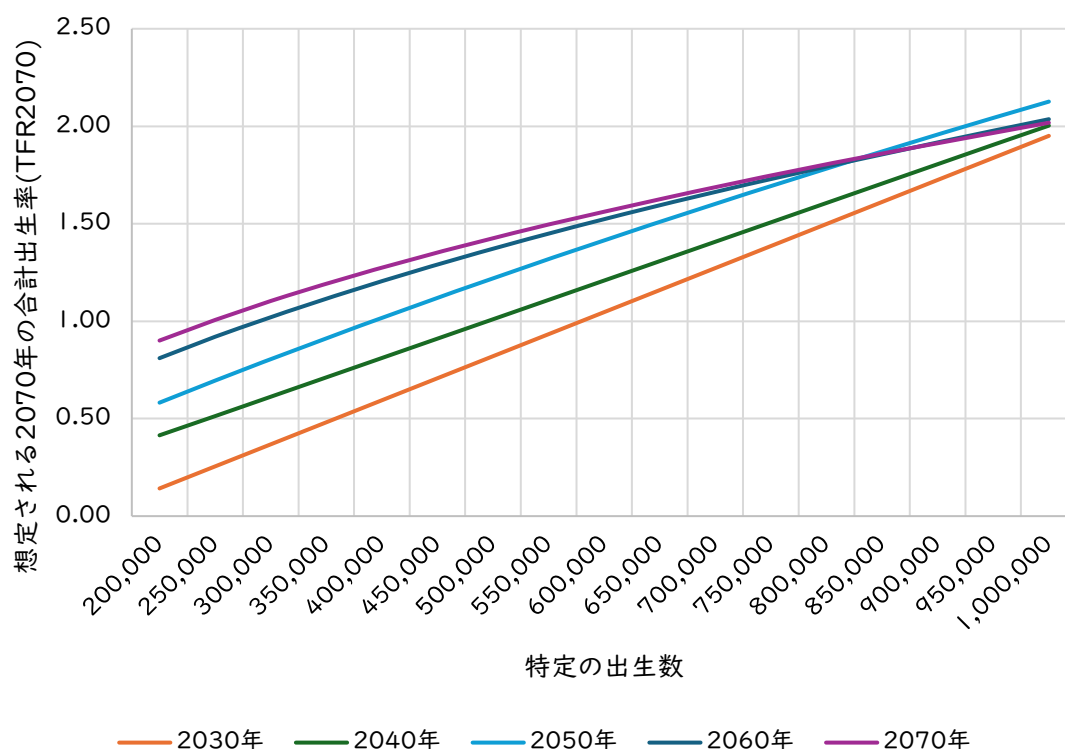


図9 特定年次の特定出生数別に対応する 2070 年合計出生率假定値



5. まとめ

本研究では将来の出生率の変化がどのような出生数をもたらすのか、とくに長期になると仮定された出生率の水準が再生産年齢女性の人口を通じて出生数に影響を与えるメカニズムも含まれるため、コーホート要因法による将来人口推計の方法を用いて、その出生率と出生数の関係を定量的に示すことを試みた。本研究では「日本の将来推計人口（令和5年推計）」（国立社会保障・人口問題研究所）の出生中位（死亡中位）仮定による結果を用いた。

まず、今後の出生数の変化であるが、2020年の出生率を固定して推計を行った結果と中位の出生率仮定によって推計を行った結果を比較すると、2020年以降2070年までの減少分の95%が仮に出生率に変化がなくても人口の変化のみで説明できる減少であることがわかった。なお、今回出生率と出生数の関係のモデル化に使用したのは、1.00から2.20の範囲のデータであったが、現実には国レベルで1.0を下回る場合も出てきており、超低出生率の場合のシミュレーションも行い、改めてモデリングすることも重要であろう。

年齢別出生率の水準が変わることで、出生数がどのように変わるかは、假定値を機械的に変化させて将来人口推計を行うことで明らかにすることができる。特定年次の将来出生数を2070年の出生率仮定の関数とすると、2030年、2040年、2050年は線形モデル、2060年、2070年は二次関数モデルがあてはまった。逆に、特定年次に特定の出生数が実現され

る場合に想定される出生率の仮定値については、上記の出生数と出生率の関係式を、合計出生率について解析的に求めた。それによると、2050年に8,000万の出生数を実現する場合には、最終的な合計特殊出生率は1.78と想定され、2070年に5,000万の出生数を維持するためには、合計特殊出生率の仮定値の最終レベルは1.43と想定される。

出生率は将来の人口や年齢構造に影響を与え、そうした条件を介して出生数に影響するため、関係を単純にとらえることはできない。実際に条件を変えて人口推計を行うことで、そこから得られる関係を利用する方法を考案した。将来推人口推計の手法は、蓋然性の高い人口予測に利用するだけでなく、こうした人口規模や構造を介する出生率と出生数の関係など、変数間の複雑な関係をとらえるツールとしても有用であり、幅広い活用が期待できる。

図 10 2070年の合計特殊出生率の水準別にみた推計された特定年次の将来出生数（再掲）

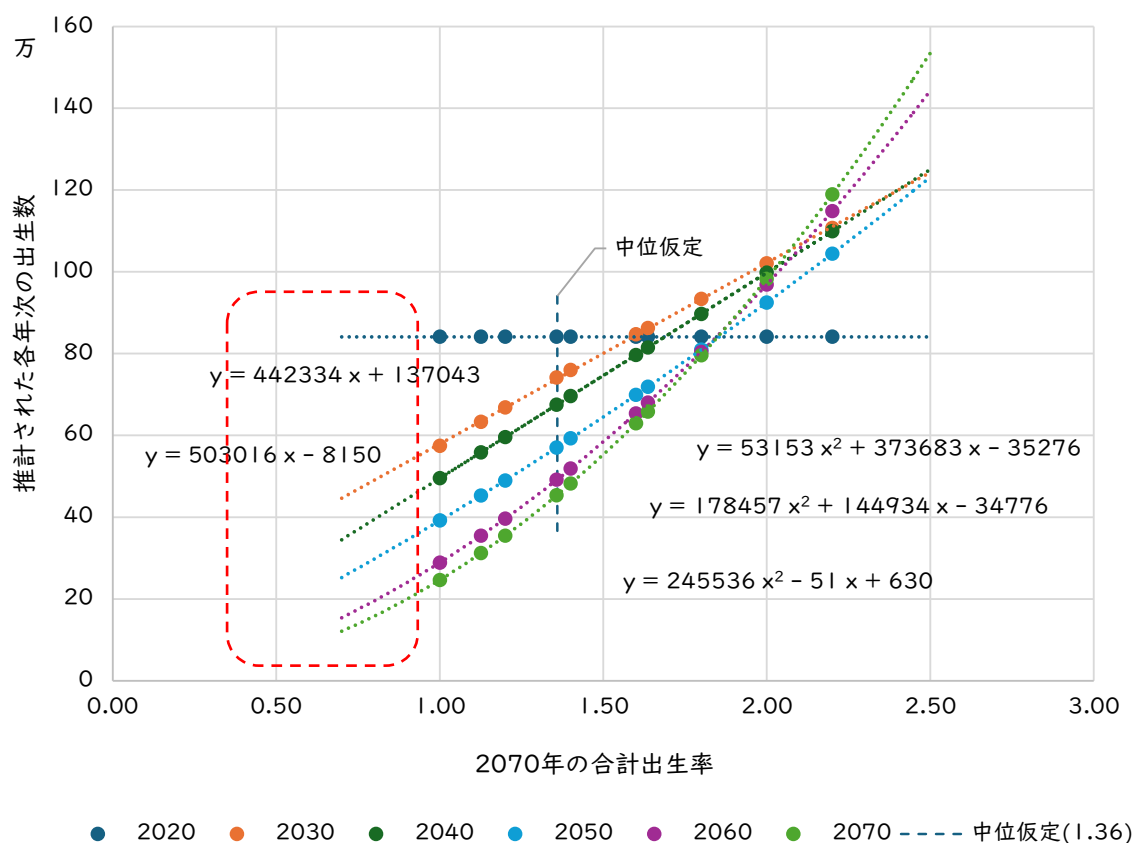
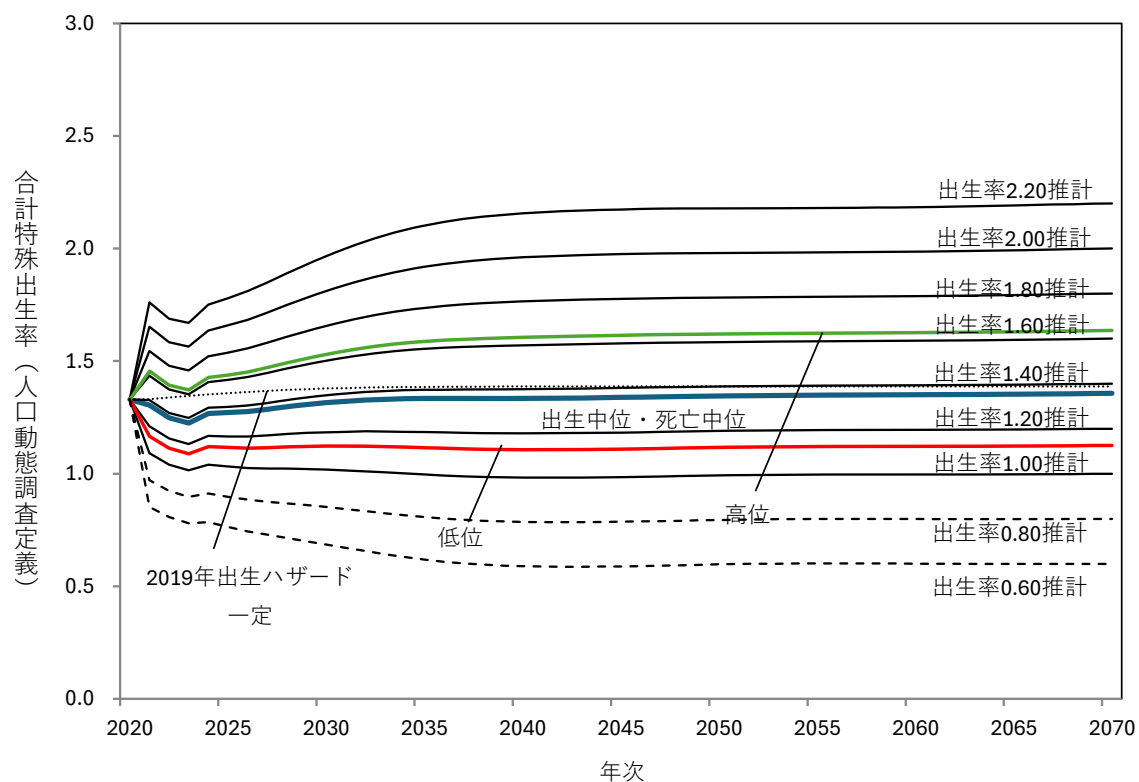


図 11 出生率の各水準(2019 年ハザード一定、2070 年 0.80、0.60 追加)



文献

国立社会保障・人口問題研究所(2023)『日本の将来推計人口（令和5年推計）』。

参考表

付表1 出生率の仮定

	出生数一定	出生率一定	基本推計			条件付き推計						
	2020年の実績 出生数の水準	出生率2020年 一定	出生率中位(コ ロナあり) (1.36)	出生率高位(コ ロナあり) (1.64)	出生率低位(コ ロナあり) (1.13)	出生率2.20	出生率2.00	出生率1.80	出生率1.60	出生率1.40	出生率1.20	出生率1.00
2020	1.33	1.33	1.33	1.33	1.33	1.33	1.33	1.33	1.33	1.33	1.33	1.33
2021	1.33	1.33	1.30	1.46	1.17	1.76	1.65	1.54	1.44	1.33	1.21	1.09
2022	1.33	1.33	1.25	1.39	1.11	1.69	1.58	1.48	1.37	1.27	1.16	1.04
2023	1.33	1.33	1.23	1.37	1.09	1.67	1.56	1.46	1.35	1.25	1.13	1.02
2024	1.33	1.33	1.27	1.43	1.12	1.75	1.64	1.52	1.41	1.29	1.17	1.04
2025	1.33	1.33	1.27	1.44	1.12	1.78	1.66	1.54	1.42	1.30	1.17	1.03
2026	1.33	1.33	1.28	1.45	1.11	1.81	1.68	1.56	1.43	1.30	1.17	1.03
2027	1.33	1.33	1.29	1.47	1.12	1.85	1.72	1.58	1.45	1.31	1.17	1.02
2028	1.33	1.33	1.30	1.49	1.12	1.89	1.75	1.61	1.47	1.33	1.18	1.02
2029	1.33	1.33	1.31	1.51	1.12	1.93	1.78	1.63	1.49	1.34	1.18	1.02
2030	1.33	1.33	1.32	1.53	1.12	1.97	1.81	1.66	1.50	1.35	1.18	1.02
2031	1.33	1.33	1.32	1.55	1.12	2.00	1.84	1.68	1.52	1.36	1.19	1.02
2032	1.33	1.33	1.33	1.56	1.12	2.03	1.86	1.70	1.53	1.36	1.19	1.01
2033	1.33	1.33	1.33	1.57	1.12	2.06	1.89	1.71	1.54	1.37	1.19	1.01
2034	1.33	1.33	1.33	1.58	1.12	2.08	1.90	1.73	1.55	1.37	1.19	1.00
2035	1.33	1.33	1.33	1.59	1.12	2.10	1.92	1.74	1.55	1.37	1.19	1.00
2036	1.33	1.33	1.33	1.59	1.11	2.12	1.93	1.75	1.56	1.37	1.18	0.99
2037	1.33	1.33	1.33	1.60	1.11	2.13	1.94	1.75	1.56	1.37	1.18	0.99
2038	1.33	1.33	1.33	1.60	1.11	2.14	1.95	1.76	1.57	1.37	1.18	0.99
2039	1.33	1.33	1.33	1.60	1.11	2.15	1.96	1.76	1.57	1.37	1.18	0.98
2040	1.33	1.33	1.33	1.61	1.11	2.16	1.96	1.77	1.57	1.38	1.18	0.98
2041	1.33	1.33	1.33	1.61	1.11	2.16	1.96	1.77	1.57	1.38	1.18	0.98
2042	1.33	1.33	1.34	1.61	1.11	2.17	1.97	1.77	1.57	1.38	1.18	0.98
2043	1.33	1.33	1.34	1.61	1.11	2.17	1.97	1.77	1.58	1.38	1.18	0.98
2044	1.33	1.33	1.34	1.61	1.11	2.17	1.97	1.78	1.58	1.38	1.18	0.98
2045	1.33	1.33	1.34	1.61	1.11	2.17	1.98	1.78	1.58	1.38	1.18	0.99
2046	1.33	1.33	1.34	1.62	1.11	2.18	1.98	1.78	1.58	1.38	1.18	0.99
2047	1.33	1.33	1.34	1.62	1.11	2.18	1.98	1.78	1.58	1.38	1.19	0.99
2048	1.33	1.33	1.34	1.62	1.11	2.18	1.98	1.78	1.58	1.39	1.19	0.99
2049	1.33	1.33	1.34	1.62	1.12	2.18	1.98	1.78	1.58	1.39	1.19	0.99
2050	1.33	1.33	1.35	1.62	1.12	2.18	1.98	1.78	1.58	1.39	1.19	0.99
2051	1.33	1.33	1.35	1.62	1.12	2.18	1.98	1.78	1.59	1.39	1.19	0.99
2052	1.33	1.33	1.35	1.62	1.12	2.18	1.98	1.78	1.59	1.39	1.19	0.99
2053	1.33	1.33	1.35	1.62	1.12	2.18	1.98	1.78	1.59	1.39	1.19	1.00
2054	1.33	1.33	1.35	1.62	1.12	2.18	1.98	1.78	1.59	1.39	1.19	1.00
2055	1.33	1.33	1.35	1.62	1.12	2.18	1.98	1.79	1.59	1.39	1.19	1.00
2056	1.33	1.33	1.35	1.62	1.12	2.18	1.98	1.79	1.59	1.39	1.19	1.00
2057	1.33	1.33	1.35	1.62	1.12	2.18	1.98	1.79	1.59	1.39	1.19	1.00
2058	1.33	1.33	1.35	1.63	1.12	2.18	1.98	1.79	1.59	1.39	1.19	1.00
2059	1.33	1.33	1.35	1.63	1.12	2.18	1.98	1.79	1.59	1.39	1.19	1.00
2060	1.33	1.33	1.35	1.63	1.12	2.18	1.99	1.79	1.59	1.39	1.19	1.00
2061	1.33	1.33	1.35	1.63	1.12	2.18	1.99	1.79	1.59	1.39	1.20	1.00
2062	1.33	1.33	1.35	1.63	1.12	2.19	1.99	1.79	1.59	1.39	1.20	1.00
2063	1.33	1.33	1.35	1.63	1.12	2.19	1.99	1.79	1.59	1.39	1.20	1.00
2064	1.33	1.33	1.35	1.63	1.12	2.19	1.99	1.79	1.59	1.40	1.20	1.00
2065	1.33	1.33	1.35	1.63	1.12	2.19	1.99	1.79	1.59	1.40	1.20	1.00
2066	1.33	1.33	1.35	1.63	1.12	2.19	1.99	1.79	1.60	1.40	1.20	1.00
2067	1.33	1.33	1.35	1.63	1.12	2.20	2.00	1.80	1.60	1.40	1.20	1.00
2068	1.33	1.33	1.36	1.63	1.12	2.20	2.00	1.80	1.60	1.40	1.20	1.00
2069	1.33	1.33	1.36	1.64	1.13	2.20	2.00	1.80	1.60	1.40	1.20	1.00
2070	1.33	1.33	1.36	1.64	1.13	2.20	2.00	1.80	1.60	1.40	1.20	1.00

日本人の出生率

中位仮定において初婚ハザードは2019年以降一定と想定、

付表2 推計された出生数

	出生数一定	出生率一定	基本推計			条件付き推計						
	2020年の実績 出生数の水準	出生率2020年 一定	出生率中位(コ ロナあり) (1.36)	出生率高位(コ ロナあり) (1.64)	出生率低位(コ ロナあり) (1.13)	出生率2.20	出生率2.00	出生率1.80	出生率1.60	出生率1.40	出生率1.20	出生率1.00
2020	840,835	840,835	840,835	840,835	840,835	840,835	840,835	840,835	840,835	840,835	840,835	840,835
2021	840,835	828,376	813,120	907,356	727,159	1,098,480	1,030,605	962,810	895,108	827,519	754,649	680,912
2022	840,835	816,160	765,765	854,564	683,974	1,034,659	970,701	906,817	843,022	779,333	710,131	639,695
2023	840,835	805,723	739,083	826,907	657,981	1,005,027	941,770	878,587	815,492	752,502	683,917	614,026
2024	840,835	796,682	755,263	849,310	668,324	1,040,050	972,311	904,652	837,086	769,633	696,127	621,166
2025	840,835	788,785	748,709	846,689	658,314	1,045,403	974,832	904,344	833,953	763,680	687,222	609,247
2026	840,835	781,830	744,077	846,365	650,111	1,053,818	980,144	906,556	833,070	759,706	680,161	599,083
2027	840,835	775,591	743,231	850,256	645,426	1,067,315	990,229	913,234	836,345	759,584	676,705	592,314
2028	840,835	769,805	743,536	855,352	641,952	1,082,129	1,001,593	921,150	840,819	760,621	674,439	586,788
2029	840,835	764,208	742,939	859,349	637,882	1,095,443	1,011,597	927,850	844,218	760,726	671,480	580,832
2030	840,835	758,554	741,449	862,284	633,210	1,107,353	1,020,320	933,389	846,578	759,913	667,825	574,432
2031	840,835	752,670	738,909	863,896	627,847	1,117,386	1,027,362	937,444	847,651	758,006	663,365	567,536
2032	840,835	746,488	735,149	863,898	621,702	1,125,019	1,032,286	939,661	847,164	754,821	657,982	560,095
2033	840,835	740,035	729,682	861,621	614,413	1,129,210	1,034,179	939,260	844,472	749,842	651,276	551,817
2034	840,835	733,373	723,376	857,966	606,771	1,130,931	1,033,991	937,165	840,473	743,941	644,062	543,449
2035	840,835	726,555	716,323	852,970	598,872	1,130,110	1,031,687	933,380	835,209	737,202	636,433	535,091
2036	840,835	719,615	708,631	846,739	590,797	1,126,852	1,027,372	928,010	828,788	729,733	628,480	526,809
2037	840,835	712,535	700,537	839,581	582,695	1,121,641	1,021,462	921,410	821,507	721,781	620,379	518,710
2038	840,835	705,266	692,163	831,718	574,592	1,114,940	1,014,330	913,868	813,576	713,482	612,186	510,770
2039	840,835	697,758	683,577	823,332	566,460	1,107,199	1,006,322	905,635	805,159	704,922	603,901	502,913
2040	840,835	689,985	674,816	814,595	558,228	1,098,930	997,823	896,977	796,412	696,156	595,486	495,020
2041	840,835	681,920	665,860	805,588	549,807	1,090,454	989,061	888,036	787,400	687,179	586,875	486,967
2042	840,835	673,509	656,665	796,313	541,128	1,081,889	980,110	878,847	778,119	677,953	578,004	478,673
2043	840,835	664,685	647,164	786,759	532,100	1,073,364	971,045	869,434	768,551	668,420	568,791	470,036
2044	840,835	655,372	637,289	776,935	522,616	1,065,105	962,006	859,862	758,693	658,522	559,138	460,932
2045	840,835	645,533	626,980	766,888	512,555	1,057,465	953,223	850,255	748,577	648,214	548,943	451,219
2046	840,835	635,187	616,209	756,702	501,826	1,050,840	944,970	840,775	738,272	637,482	538,131	440,780
2047	840,835	624,444	605,014	746,537	490,394	1,045,735	937,612	831,669	727,918	626,382	526,690	429,550
2048	840,835	613,471	593,492	736,605	478,287	1,042,681	931,555	823,228	717,712	615,026	514,666	417,526
2049	840,835	602,491	581,811	727,141	465,627	1,042,099	927,146	815,736	707,879	603,591	502,196	404,813
2050	840,835	591,726	570,193	718,369	452,639	1,044,203	924,605	809,416	698,643	592,300	489,504	391,632
2051	840,835	581,329	558,847	710,383	439,612	1,048,745	923,821	804,276	690,115	581,347	476,857	378,301
2052	840,835	571,422	547,999	703,272	426,868	1,055,396	924,637	800,306	682,405	570,940	464,551	365,175
2053	840,835	562,097	537,873	697,166	414,689	1,063,966	926,995	797,558	675,656	561,290	452,854	352,555
2054	840,835	553,431	528,602	692,093	403,276	1,074,114	930,708	795,976	669,914	552,520	441,949	340,658
2055	840,835	545,475	520,265	688,056	392,746	1,085,549	935,614	795,497	665,194	544,697	431,946	329,610
2056	840,835	538,230	512,892	685,034	383,158	1,098,031	941,566	796,053	661,483	537,848	422,896	319,475
2057	840,835	531,660	506,436	682,871	374,535	1,111,032	948,192	797,399	658,643	531,912	414,804	310,297
2058	840,835	525,702	500,828	681,377	366,881	1,123,962	955,066	799,251	656,502	526,804	407,654	302,106
2059	840,835	520,279	495,986	680,411	360,144	1,136,476	961,932	801,421	654,929	522,436	401,388	294,861
2060	840,835	515,307	491,776	679,804	354,218	1,148,304	968,556	803,715	653,759	518,668	395,890	288,465
2061	840,835	510,681	488,026	679,324	348,970	1,159,067	974,619	805,860	652,769	515,321	391,015	282,809
2062	840,835	506,286	484,567	678,740	344,274	1,168,399	979,802	807,589	651,737	512,216	386,624	277,786
2063	840,835	502,020	481,252	677,888	339,997	1,176,133	983,933	808,731	650,499	509,202	382,579	273,275
2064	840,835	497,805	477,946	676,651	335,993	1,182,265	986,957	809,192	648,935	506,146	378,735	269,134
2065	840,835	493,577	474,523	674,928	332,120	1,186,825	988,845	808,898	646,939	502,923	374,953	265,220
2066	840,835	489,288	470,887	672,651	328,263	1,189,879	989,603	807,807	644,440	499,442	371,121	261,414
2067	840,835	484,903	466,979	669,794	324,340	1,191,536	989,279	805,923	641,403	495,646	367,164	257,631
2068	840,835	480,393	462,763	666,344	320,295	1,191,891	987,921	803,257	637,814	491,503	363,029	253,809
2069	840,835	475,735	458,227	662,315	316,098	1,191,062	985,600	799,843	633,682	487,003	358,693	249,912
2070	840,835	470,911	453,380	657,747	311,734	1,189,209	982,423	795,748	629,041	482,158	354,144	245,918

日本人の出生数

中位仮定において初婚ハザードは2019年以降一定と想定、